



# 「死者はゼロ」 春の交通安全運動おわる

春の交通安全運動が4月6日から15日まで行われ、特に歩行者及び自転車利用者、子どもと老人の交通事故防止と夜間における交通事故防止シートベルト着用の推進を重点目標にいろいろな行事をもちこんで交通安全を市民にPRしました。

中でも、子どもたちに売れっ子のピンクレディの「飲みたくなったらねむたくなったら」あなたのための交通安全のポスターが、まちの

あちこちにはられ人の足をとめていました。この結果期間中死者はゼロでした。第1日目の6日は、朝早くから冷たい雨の中、交通安全協会の人たちや市の交通指導員などが街頭で交通整理やチラシなどを市民にくばり交通安全を訴えていました。

また渡辺市長は富士急行吉原中央駅や東海道本線富士駅前通勤、通学の人たちに「お勤めご苦労さん」と声をかけながら交通安全のチラシをくばりました。

【写真・富士駅前渡辺市長も交通安全のチラシ配り】

## 交通事故がふえています

### ＝市内の交通事故の実態＝

市内の交通事故は、1月は減りましたが、2月、3月とふえ続けています。

#### ■死亡事故が多い……8件

4月7日現在、交通事故で亡くなった人は8人で、昨年と同じ勢いでふえています。

- ・夜間の死亡事故が多い……4件
- ・歩行者や自転車に乗った人が被害にあって死亡する事故が多く、また被害者は全部女性です……4人
- ・ブロック塀にぶつかったり、畑に転落する一人相撲が多い……2件

#### ■子供が被害にあってけがをする事故が多い……49人

- ・幼稚園などに入っていない小さい子供と、小学生が被害にあう事故が多く、その大部分は急に道路に出たり横断するとき起きています……32人

#### ■交通事故防止のために

- ・スピードが安全運転の基本です。夜間は、交通が少ないからと油断せず、決められた速度を守って下さい。
- ・子供は、いつ、どんな動きをするのかわかりません。子供を見かけたら必ずスピードを落して下さい
- ・車を運転するときは、シートベルトを締めましょう。

- ・踏切では、必ず一時停止して左右の安全を確認して下さい。無理な運転は事故のもとです。

## 富士市は「飲酒運転防止重点対策地区」に指定されました

- これは、昨年の交通事故の中で
- ◎交通事故で亡くなった32人のうち飲酒運転による死者は8人(25%)
- ◎人身事故全体に占める飲酒運転事故は9.3%と、飲酒運転による事故が多かったために指定されたものです。

飲酒運転防止のために、運転する人はもちろんですが、家族やまわりの人も飲んだら運転させないように気をつけましょう。

## 消防署富士分署が移転

### 名称は「西分署」にかわります

市消防本部は、この5月1日から富士地区の消防力を強化するため、現在の消防署富士分署を市内松本8番地の1(身延線豎堀駅東側富鷹線添い)に移転し、名称を消防署西分署になります。